

香港証券取引決済所および香港証券取引所は、本公表文の内容について一切責任を負わず、本公表文の正確性または完全性について一切表明を行わず、また、本公表文の内容の全部または一部から発生し、または、それを信賴したことによるあらゆる損失に関する責任を明示的に否認します。



株式会社ダイナムジャパンホールディングス

(日本で設立された有限責任会社)

(証券コード: 06889)

- (1) 2023 年 6 月 23 日に開催された定時株主総会の議決権行使結果**
- (2) 取締役の区分変更及び代表執行役、社長及び取締役会議長の変更**
- (3) 独立非業務執行取締役の選任**
- (4) 独立非業務執行取締役の退任**
- (5) 取締役会委員会の構成変更**

(1) 2023年6月23日に開催された定時株主総会の議決権行使結果

株式会社ダイナムジャパンホールディングス（以下「**当社**」といい、当社及びその子会社を「**当社グループ**」と総称します）の取締役会（以下「**取締役会**」といいます）は 2023年6月23日に開催された第12期定時株主総会（以下「**定時総会**」といいます）において、2023年6月1日付けの定時総会のお知らせ（以下「**お知らせ**」といいます）に記載する全ての決議事項が当社の株主（以下「**当社株主**」といいます）による投票に基づき正当に可決された旨をお知らせいたします。

定時総会において、定時総会の議長から、全ての決議事項に関する議決権の行使を投票に基づき行うよう要請がありました。定時総会の日現在で、当社株式の発行済総数は 713,486,296 株であり、これは定時総会に出席して、全ての決議事項に関して賛成、反対もしくは棄権する権利を当社株主へ付与する全ての当社株式数に相当しました。棄権票は、決議事項への投票総数に算入されておりますが、賛成票または反対票には含まれませんでした。香港証券取引所（以下「**香港証券取引所**」といいます）の証券上場適用規則（以下「**上場規則**」といいます）に基づき定時総会における決議事項への投票を棄権するよう要求されている当社株主はおりませんでした。

当社の全取締役、すなわち、坂本誠氏（以下「**坂本氏**」といいます）、佐藤洋治氏、佐藤公平氏、保坂明氏（以下「**保坂氏**」といいます）、加藤光利氏、トーマス・チュン・キー・イップ (Thomas Chun Kee YIP)氏、村山啓氏（以下「**村山氏**」といいます）、神田聖人氏及び加藤公司氏は、直接又は電子的手段で定時総会に出席しました。

当社の株主名簿管理人であるコンピュータシェア・ホンコン・インベスター・サービスズ・リミテッド（Computershare Hong Kong Investor Services Limited）が票の集計を目的として定時総会における開票検査人を務めました。定時総会の決議事項に関する投票結果は以下の通りでした。

決議事項		票数			投票総数
		賛成	反対	棄権	
普通決議					
1.	株式の割当、発行および取引の包括授權の件	580,268,421 (99.533552%)	2,719,134 (0.466414%)	200 (0.000034%)	582,987,755
2.	自己株式取得の包括授權の件	582,987,555 (99.999966%)	0 (0.000000%)	200 (0.000034%)	582,987,755
3.	取締役 9 名選任の件				
(i)	取締役兼執行役候補：保坂 明氏	579,629,228 (99.423911%)	3,357,927 (0.575986%)	600 (0.000103%)	582,987,755
(ii)	非業務執行取締役候補：佐藤 洋治氏	582,907,640 (99.986258%)	79,515 (0.013639%)	600 (0.000103%)	582,987,755
(iii)	非業務執行取締役候補：佐藤 公平氏	582,907,640 (99.986258%)	79,515 (0.013639%)	600 (0.000103%)	582,987,755
(iv)	非業務執行取締役候補：坂本 誠氏	582,441,460 (99.906294%)	545,695 (0.093603%)	600 (0.000103%)	582,987,755
(v)	独立非業務執行取締役候補：加藤 光利氏	582,381,460 (99.896002%)	605,695 (0.103895%)	600 (0.000103%)	582,987,755
(vi)	独立非業務執行取締役候補：トーマス・チュン・キー・イップ氏	582,873,086 (99.980331%)	114,069 (0.019566%)	600 (0.000103%)	582,987,755
(vii)	独立非業務執行取締役候補：神田 聖人氏	582,933,086 (99.990623%)	54,069 (0.009274%)	600 (0.000103%)	582,987,755
(viii)	独立非業務執行取締役候補：加藤 公司氏	582,933,086 (99.990623%)	54,069 (0.009274%)	600 (0.000103%)	582,987,755
(ix)	独立非業務執行取締役候補：伊藤まゆみ氏	582,958,077 (99.994909%)	29,078 (0.004988%)	600 (0.000103%)	582,987,755
4.	香港証券取引所上場規則に基づく監査人選任の件	582,987,555 (99.999966%)	0 (0.000000%)	200 (0.000034%)	582,987,755

決議事項の全文はお知らせに記載されております。

投票数の過半数の賛成票を得たため、上記の普通決議事項は全て当社株主によって可決されました。

(2) 取締役の区分変更及び代表執行役、社長及び取締役会議長の変更

保坂氏

取締役会は、保坂氏が、2023 年 6 月 23 日より、当社の非業務執行取締役から取締役兼執行役へと取締役の区分変更がありましたのでお知らせ致します。また、保坂氏は、2023 年 6 月 23 日より、取締役会議長、代表執行役及び社長に選任されましたのでお知らせ致します。

保坂氏（50 歳）は、2020 年 6 月 18 日から当社の完全子会社株式会社ダイナム（以下「**ダイナム**」といいます）の代表取締役です。

同氏の当社グループへの参画は、1995 年 4 月のダイナム入社にさかのぼります。2008 年 3 月、ダイナムの新潟ゾーンマネジャーとして選任されました。2016 年 5 月、ダイナム経営管理部長（2016 年 12 月組織名称変更、現経営企画部）として選任されました。2017 年 6 月ダイナムの取締役に昇進し、2020 年 6 月 18 日にダイナムの代表取締役及び社長に選定されました。また、2020 年 6 月 24 日に当社の非業務執行取締役に選任されました。

保坂氏は 1995 年 3 月立教大学を卒業し社会学士の学位を得ました。

当社は保坂氏と委任契約書を締結しておりません。同氏の任期は約 1 年で当社の定款（以下「**定款**」といいます）にしたがって 2024 年 6 月に開催される第 13 期定時株主総会の終結時に終了します。当社の報酬委員会（以下「**報酬委員会**」といいます）は、保坂氏の年間報酬を再検討し、保坂氏の責務、経験、パフォーマンス等を勘案して 34,548,000 円と決定しました。

本発表日現在で、保坂氏は受益的所有者として当社株式を 78,121 株保有しており、これは当社発行済株式総数の約 0.01%に相当します。

上場規則附属書類 14 に定めるコーポレート・ガバナンス・コードの第 2 部コード規定 C.2.1 は、取締役会議長と代表執行役の役割は別の者が担うべきであると定めています。しかし、取締役会は、保坂氏が、取締役会議長と代表執行役の両方の立場から当社と当社子会社の発展のために強力で一貫したリーダーシップを発揮することができ、これは当社と当社株主の利益になると考えております。さらに、取締役会は、独立非業務執行取締役が過半数を占める現在の取締役会の構成に鑑みて、パワーバランスは保たれると考えております。

上記で開示されるものを除き、(a)保坂氏は当社の取締役、経営陣幹部、主要株主又は支配株主と如何なる関係も無く、(b)保坂氏は本発表日の直前の 3 年間に香港又は香港以外の証券取引所において有価証券を上場する企業の取締役その他の主な役職・専門的資格の経験はなく、(c)他に上場規則の規則 13.51(2)に基づき開示の必要な情報は無く、また、(d)他に保坂氏の取締役区分変更に関して当社株主が留意すべき事項はありません。

取締役会は、保坂氏の当社取締役兼執行役への区分変更と取締役会議長、代表執行役及び社長への就任を心より祝い申し上げます。

坂本氏

取締役会は、2023 年 6 月 23 日より、当社の取締役兼執行役から非業務執行取締役へと取締役の区分変更がありましたのでお知らせ致します。また、坂本氏は、2023 年 6 月 23 日より、取締役会議長、代表執行役、執行役及び社長を退任しましたのでお知らせ致します。

坂本氏は、当社グループにおける長年の採用・教育の結果として、経営を担う人材が育ってきたこと、また当社グループを取り巻く環境変化に対応すべく、よりパチンコ事業に精通し柔軟な発想を持つ次世代の経営体制への移行が適切であると判断し、今回の非業務執行取締役への区分変更及び様々な役職からの退任にいたしました。

坂本氏は、取締役会との間に意見の相違はなく、退任及び取締役区分の変更に関して香港証券取引所及び当社の株主に注意を喚起する必要がある事項はないことを確認しています。

坂本氏（66 歳）の当社グループへの参画は、2004 年 2 月のダイナム入社にさかのぼります。入社以来、殆どの期間を同社の人事関連部門で勤め、2005 年 9 月人材開発部担当部長、2006 年 9 月執行役員人事部長に選任され、2011 年 6 月にダイナムの取締役に選任されました。2020 年 4 月から当社の代表執行役社長に、2020 年 6 月から当社の取締役会議長及び当社の取締役兼執行役に選任されました。

ダイナム入社前、坂本氏は、1980 年に株式会社ダイエー（現在は東京証券取引所第一部に上場するイオン株式会社（証券コード：8267）の完全子会社）に入社し、3 年間の店舗経験後は一貫して人事関連業務に携わり、1996 年 9 月から 1999 年 9 月まで同社の人事部長を経験しました。その後、2002 年 10 月まで、株式会社ダイエーの関連会社にあたる㈱ビックボーイジャパンに出向・転籍しました。2002 年 11 月に㈱セントラルサービスシステム、2003 年 5 月から同年 11 月まで㈱日本スポーツビジョンに勤務し、いずれの会社でも一貫して人事管理業務を担当してきています。

当社は坂本氏と委任契約書を締結しておりません。同氏の任期は約 1 年で定款に従って 2024 年 6 月に開催される第 13 期定時株主総会終結時に終了します。報酬委員会は坂本氏の年間報酬を再検討し、坂本氏の責務、経験、パフォーマンス等を勘案して、同氏の年間報酬を 6,000,000 円と決定しました。

坂本氏は、1980 年 3 月に早稲田大学を卒業し、社会科学士の学位を得ました。

本発表日現在で、坂本氏は受益的所有者として当社株式を 22,000 株保有しており、これは当社発行済株式総数の約 0.003%に相当します。

上記で開示されるものを除き、(a)坂本氏は当社の取締役、経営陣幹部、主要株主又は支配株主と如何なる関係も無く、(b)坂本氏は本発表日の直前の 3 年間に香港又は香港以外の証券取引所において有価証券を上場する企業の取締役その他の主な役職・専門的資格の経験はなく、(c)他に上場規則の第 13.51(2)に基づき開示の必要な情報は無く、また、(d)他に坂本氏の取締役区分変更に関して当社株主が留意すべき事項はありません。

取締役会は、坂本氏の在任中の当社グループへの貴重な貢献に対し、この場を借りて感謝申し上げますとともに、当社非業務執行取締役への就任を歓迎したいと存じます。

(3) 独立非業務執行取締役の選任

取締役会は、定時総会終結時より、伊藤まゆみ氏（以下「伊藤氏」といいます）が当社の独立非業務執行取締役に選任された旨お知らせ致します。

伊藤氏（61歳）は、2021年12月より、電子書籍出版事業とマーケティングコンサルティング事業を行うエピステーマー合同会社の代表を務めております。

伊藤氏は、1987年から17年間エルメスジャパン(株)に勤務し、初代バッグの担当バイヤー、香水事業部の立ち上げ責任者、CRMシステム開発のプロジェクトリーダーを歴任しました。2005年から2011年は、リシュモンジャパン(株)に勤務し、ピアジェのリテール営業部次長や、住友商事との合併で立ち上げたランセルジャパン（株）にリテールオペレーション部ディレクターとして出向しました。2011年から2017年は、スウォッチグループジャパン(株)に勤務し、ティファニーウォッチ事業本部長、コーポレート事業本部長及びブランパン事業本部長を歴任しました。2017年から2020年は、SHIGETA(株)の副社長として日本支社の経営を担当しました。2020年から2021年は、プレミアアンチエイジング(株)でイミュノ事業開発部長でした。

伊藤氏は、1985年3月に慶應義塾大学の文学士を取得しました。

当社は伊藤氏と委任契約書を締結しておりません。同氏の任期は約1年で定款にしたがって2024年に開催される第13期定時株主総会の終結時に終了します。報酬委員会は、伊藤氏の責務、経験、パフォーマンス等を勘案して、同氏の年間報酬を6,000,000円と決定しました。

本発表日現在で、伊藤氏は当社株式（香港証券先物条例（香港法第571章）第15編で定義する意味を有する）を保有しておりません。

伊藤氏は、上場規則の第3.13条に定める独立性の基準を満たしていることを確認しました。

上記で開示されるものを除き、(a) 伊藤氏は当社の取締役、経営陣幹部、主要株主又は支配株主と如何なる関係も無く、(b) 伊藤氏は本発表日の直前の3年間に香港又は香港以外の証券取引所において有価証券を上場する企業の取締役その他の主な役職・専門的資格の経験はなく、(c) 他に上場規則の規則13.51(2)に基づき開示の必要な情報は無く、また、(d)他に伊藤氏の選任に関して当社株主が留意すべき事項はありません。

取締役会は、この機会に、伊藤氏の当社独立非業務執行取締役への就任を歓迎したいと存じます。

(4) 独立非業務執行取締役の退任

取締役会は、定時総会終結時に村山氏が当社の独立非業務執行取締役を任期満了により退任しましたのでお知らせ致します。

村山氏は、取締役会との間に意見の相違はなく、退任に関して香港証券取引所及び当社の株主に注意を喚起する必要がある事項はないことを確認しています。

取締役会は、村山氏の在任中の当社への貴重な貢献に対し、この場を借りて感謝とお礼を申し上げます。

(5) 取締役会委員会の構成変更

取締役会は、本年6月23日から、当社の指名委員会（以下「**指名委員会**」といいます）及び報酬委員会の構成が以下のように変更されたことをお知らせ致します。

- (1) 保坂氏は指名委員会の委員及び報酬委員会の委員として選任されました。
- (2) 伊藤氏は指名委員会の委員及び報酬委員会の委員として選任されました。
- (3) 坂本氏は指名委員会の委員及び報酬委員会の委員を退任しました。
- (4) 村山氏は指名委員会の委員及び報酬委員会の委員を退任しました。

取締役会の命を受けて
株式会社ダイナムジャパンホールディングス
取締役会議長 **保坂 明**

2023 年 6 月 23 日、日本国、東京

本公表文の作成日において、当社の取締役兼執行役は保坂明氏、当社の非業務執行取締役は佐藤洋治氏、佐藤公平氏及び坂本誠氏、当社の独立非業務執行取締役は、加藤光利氏、トーマス・チュン・キー・イップ(Thomas Chun Kee YIP)氏、神田聖人氏、加藤公司氏及び伊藤まゆみ氏です。

*本公表文は、英語の原文を参考のために日本語訳したものです。日本語版と英語版に相違がある場合は英語版が正しいとみなされます。翻訳による誤解はいかなる場合においても株式会社ダイナムジャパンホールディングスの責任とはされませんのでご了承下さい。